



# わが「志」を語る

トップが綴る 仕事の原点・未来の夢

PHP研究所〔編〕

# 自分は活かされている

日本ウエストーン(株) 社長 白井麻紗杜<sup>うすい まさと</sup>

わたしは、両親から命を授かり、師・先輩・友・妻・子どもたちに教えられ、また仕事においてお客様・仕入先・同業者・異業種の方々からたくさん学びを受けて今日がある。わたし一人の力で生きていくのではなく、目に見える、あるいは見えない力に支えられて今日を迎えることができている。経営においても、トップの力だけで事業を推進することはできない。社員さんや経営の理念・思いに賛同してくれる仲間がいるから挑戦もできる。人は、すべてにおいて活かされて生きていくのだと歳を重ねることに感じる。

当社では多くの障がい者の方々と仕事をさせていただいているが、彼らは本当にひたむきに仕事に取り組み、一生懸命に生きていくことを行動で教えてくれる。彼らは、ほめられたり人から必要とされていることを理解したりすると、何十倍もの力を発揮する。彼らを見ていると、自分が時には愚痴を言ったり、物事を人の責にしたりすることが、恥ずかしくなっ

てしまう。

冬に雪が二〇〜三〇センチも積もり、たいがいの人が今日はもう遅刻だとあきらめてしまうようなときでも、彼らは朝一番の始発に乗り、遅刻することなく、誰よりも早く出社してくれる。頭が下がる。彼らにがんばったねと声をかけると、びつくりする言葉が返ってくる。僕が仕事をしないとみんなが困るから、お客様が困るからと真剣な目で話してくれる。こんな言葉を聞いて、がんばれないわけがない。

彼らのように純粹に、仕事を通して仲間・お客様・社会に貢献させていただいているかを自らに問いかける。自分のもてる力を存分に発揮させているか、人頼みでなく主体的に取り組んでいるか、現状維持に甘んじるのではなくいつも進歩発展させているか、他人の利益もはかる心をもっているかなど、仕事・人生についての「原点」を感じさせられる。この心が、わたしの仕事・人生への志と言ってもよいと思う。

ものづくりでも、業務提供でも、販売でも、管理でも、配送でも、すべての仕事、そして人生にもいえることだが、人は、一人では生きていけない。仲間と高め合い成長することで活かされて人生を歩んでいる。自分は人から活かされていると思えば、どんなに大変だろうとつらいことがあると、謙虚にすべてに感謝する心を持ち、挑戦していける。